

緑の相談

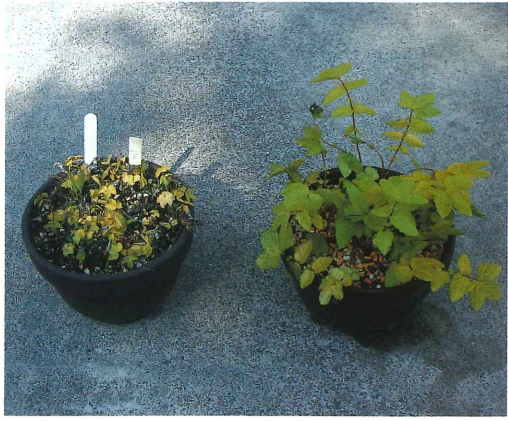
Q & A

Q

シモツケソウが小さな芽になってしまったのですが、なぜでしょうか。

A

シモツケソウは4、5年植え替えをしないと芽がだんだん小さくなってしまいます。原因は害虫が見られなければ、肥料が足りないか根詰まりを起こしているためです。そのため、2年から3年に1回は植え替えをするようにしたいですね。



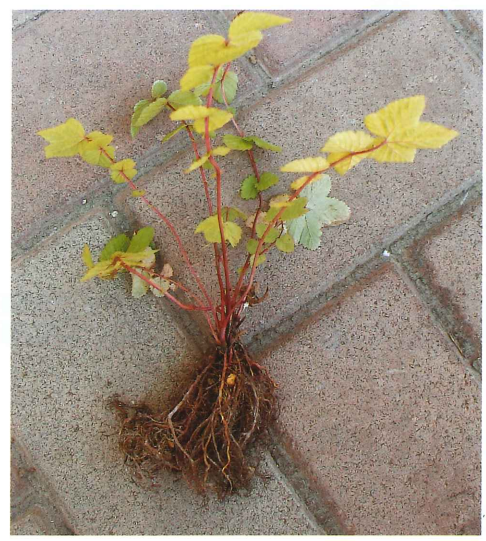
右：毎年植え替えを行っているもの
左：4、5年植え替えをしていないもの

植え替え方法

植え替えは4または5号鉢に防虫ネットを敷き、その上に大粒の赤玉土を2、3cm入れ、少量の肥料を施してから赤玉土4、鹿沼土4、軽石2の用土で植え付けます。



土が隅々まで入るよう割り箸などを使って植え込みます。



なお、株元から紐状の根を多数伸ばしているため、長い根は半分ほどカットして古い土を落としてから植え付けます。

管理の仕方

植え替え時期は普通2〜3月ですが、4月になつてから植え替えてもその後、日陰で1〜2週間ほど置いておき、徐々に半日陰に移して管理するようにすれば大丈夫です。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育	芽出し							開花		休眠		
置き場	軒下	全日照			半日陰		全日照			軒下		
管理	元肥		置き肥		液肥数回					置き肥		
	植え替え・株分け		ウドンコ病に注意									

くれぐれも水は切らさないように。(土が乾いたら水をやるように)なお、薄い液肥を花の咲く前頃に施すとよいでしょう。(月1〜2回)



(みかも山公園緑の相談所)

「しゃつてみよう！」

イカリソウの
植え替えをしてみよう。

イカリソウは花型が錨に似ているので命名されています。花を楽しむだけでなく、葉草としても広く親しまれています。

植え替え

(適期)

一般的には十一月～三月にかけての休眠期ですが時期を逃した場合は、新葉が固まる五月下旬～六月も適期です。

(株分け)

数芽は最低でも必要です。一芽にすると枯らす場合があります。

(鉢・用土)

丈夫な草ですから鉢を選びません。生長が旺盛で水切れの心配がある場合は、中深鉢を用います。

用土は軟質で5mm以下の細かい目のものを使用します。
用土例 赤玉土4・鹿沼土4・軽石2



管理

(置き場)

新芽が伸びだして花が咲く時期は、日光によく当て葉茎を丈夫に育てます。日差しが強くなったら半日陰に。

(灌水)

日差しよりも水切れにより葉が枯れる事が多いので注意します。乾いたらたっぷり灌水します。

(肥料)

好肥性の植物ですから、多目に与えて肥培につとめます。

春先二回、秋口一回は与えたいものです。発酵した有機質肥料が良いでしょう。

(植え付け)

細かい根の間にも用土が入るようにします。用土を押しえて固めに植え付けるのがポイントです。



(増やし方)

株分けが一般的です。実生でも三年もすれば初花を見ることが出来ます。種類によっては自家不稔があります。

(病害虫)

特別な被害は少ないイカリソウですが、アブラムシが付き易いのでオルトラン粒剤等を予防的に散布します。



完成です。

(みかも山公園緑の相談所)